

## 第5回 ニッケピュアハート エッセー大賞

<中学の部 優秀賞>

とてもはずかしがりやなんです。

高原美晴

授業中、自分の意見や答えを発表するのがすごくはずかしい。週初めの月曜日は特にはずかしい。答えを言う時に間違えたらどうしよう。笑われたらいやだ。先生が

「間違えてもだいじょうぶですよ。」

といつも言っている。それでも、発表する気にはならない。他の人が発表しているのを見て、何でそんなに大きな声で発表できるの、間違えたのに何ではずかしがらないの、と思う。

英語の時間、動物のまねをしたりする。やりたくない。シーンとなったらどうしよう。私はいつもそう思っている。

帰りの会の時などに、先生が、何か質問はありますか。」と聞いてくれる。本当は聞きたいことがある。どうしよう。言いたいけどはずかしい。だれかが言ってくれるのを待っている。すごくあせってくる。結局質問できず、後ですることになる。何でいつもこうなの。質問するくらいで緊張するのはもういやだ。

声の大きさも問題。はずかしいから声がすごく小さい。そのため、二回くらい言うはめになる。大きな声で言えばこうならないのはわかっている。でもやっぱりはずかしくて小さくなってしまふ。大きな声で発表できたらなあ。

何でいつもはずかしくなるのか。みんな発表をはずかしがらずにできてうらやましい。できたら自分にごほうびをあげるのはどうだろう。大きな声で発表することができたら、いつもは二杯でがまんしているご飯を三杯目も食べていいことにする。質問や発表ができたら、自分で自分の頭をなでることにする。二学期からやってみよう。